

## 新型インフルエンザについて

質問（八木英子議員）大田原市  
新型インフルエンザ対策行動計  
画と近隣市町との連携について  
伺います。

答弁（市長）本市では、他の市  
町に先駆けて、平成十九年六月  
に大田原市新型インフルエンザ  
対策行動計画を、同年九月に大  
田原市新型インフルエンザ対応  
マニュアルを策定し、その後内  
容の見直しを行い、対応を強化  
しているところであります。  
本市独自に地区医師会等との

協議を重ね、実際市内に患者が  
発生した場合は、市が独自に行  
う対策のほか、発熱外来等の医  
療の確保につきましては、栃木  
県知事からの要請があった場  
合、直ちにふれあいの丘を発熱  
外来設置箇所とし、患者の対応  
に当たるとの方向性を定め、設  
置できる体制づくりを進めてい  
るところであります。しかしな  
がら、他市町には主だった動き  
は見られず、同時に設置ができ  
なかつた場合、大田原市の発熱

外来に患者が殺到するというこ  
とが容易に想像できるため、今  
現在も地区医師会と協調しなが  
ら、県に対し、他市町に対し、  
体制づくりを早急に行うよう要  
請しているところであります。  
今回のH1N1型の新型イン  
フルエンザは、弱毒性で、季節  
性インフルエンザと症状に差が  
ないという情報が大勢を占めて  
いるため、県も他の市町も動き  
が鈍いとも言えますが、当初の  
想定どおりの強毒性のインフル  
エンザの脅威が衰えていない現  
実を見詰め、体制づくりへの働  
きかけは続けてまいりたいと考  
えております。



大田原地区で分別コンテナによる回収がはじまります

## 「ごみゼロ」に向けた取り組みについて

質問（本澤節子議員）「ごみゼ  
ロ」に向けた取り組みについて  
伺います。

答弁（市長）本市では、ごみを  
徹底的に減らし、資源を循環さ  
せるまちづくりを基本理念に一  
般廃棄物処理基本計画を平成十  
六年に作成いたしました。平成  
十七年の合併により、ごみ処  
理を行う対象人口も増大し、処  
理区域も拡大したことから、平  
成十八年度に見直しを行い、さ  
らなる廃棄物の減量化とリサイ

クル率の向上を目標とした新た  
な一般廃棄物処理基本計画を策  
定いたしました。計画期間は平  
成十八年度から平成二十七年  
までの十年間となっております  
が、中間目標年次である来年度  
は必要に応じて本計画の見直し  
を行っていきたいと考えてお  
り、あわせて廃棄物行政を取り  
巻く諸条件に大きな変化があつ  
た場合には随時見直しを行って  
いく考えであります。

本計画では、廃棄物の減量

化、資源化の推進や、市民、事  
業所、行政の協働の実現、また  
適正処理処分の推進、そしてご  
み処理から資源管理への転換な  
ど四つの基本方針を定めており  
ます。特にごみ処理から資源管  
理への転換では、これまでのご  
み処理という観点から脱却し、  
今後はすべてのごみは資源であ  
るという理念のもと、さらなる  
分別の徹底や減量化、資源化に  
より、二十一世紀の最重要課題  
の一つであるごみゼロ社会に向  
けた循環型社会の構築に取り組  
んでまいりたいと考えておりま  
す。



昨年10月の新型インフルエンザ模擬訓練